

(1) 千葉市美術館
令和3年度事業報告書

1 基本的事項

通年開館を実施し、市民サービスの向上に努めました。また、職員の配置及び緊急連絡体制・個人情報保護、情報公開、文書管理、再委託業務についても適正に実施しました。

2 企画提案業務の実施

(1) 美術品等の収集・保存・管理に関する業務

ア 収集活動

3つの収集方針を尊重しながら、作品収集が活発に行われるように調査研究と情報収集を継続し、所蔵者に、当面は寄贈・寄託を積極的に働きかけました。購入については、所管課と今後の見通しについて検討しました。収集の個別の分野については、以下のとおりです。(収集審査会 令和3年5月12日・12月17日開催)

(寄贈及び購入作品)

区分	令和3年度収集件数	延べ収集件数
千葉市を中心とした房総ゆかりの作家及び作品	105件	630件
日本文化を形成する近世以降の美術品	39件	1,248件
現代美術(その他)	23件	520件
計	167件	2,398件

(寄託作品)

区分	令和3年度寄託作品 件数	令和3年度寄 託解除件数	総寄託作品件 数
千葉市を中心とした房総ゆかりの作家 及び作品	28件	0件	119件
日本文化を形成する近世以降の美術品	1件	2件	777件
現代美術(その他)	1件	0件	247件
計	30件	2件	1,143件

※国有品の無償貸与1件を除く

総じて、所管課と協議・連携し、すぐれた美術品の収集に努め、より充実したコレクションの形成を図りました。

イ 保存・管理

(ア) 日々の管理

収蔵庫・展示室の各部屋の温湿度が適正であるかどうかを確認しました。また展覧会開催中は、展示室の朝夕の開閉を学芸員が行なうとともに、展示作品に異常・劣化がないか確認しました。

(イ) 盗難・損壊防止

展示品の盗難・損壊防止のため、展覧会会期中及び清掃中に監視員を置きました。また展示にあたっては、作品を適宜固定するなど盗難・損壊防止のための適切な展示方法、安全な作品の扱いに留意して作業を行いました。

(ウ) 作品の館外貸出し

貸出	10 件・160 点
返却	16 件・200 点

※件数は本年度中の貸出返却立ち会い件数、点数は貸出返却作品数

展覧会の意義が高く、作品の取り扱い、管理環境、安全性について適正かどうか、作品の状態に問題はないかを総合的に判断して、作品の館外貸出しを行いました。貸出・返却時には双方の学芸員が立ち会い、作品に異常がないか確認しました。

(エ) 収蔵品のデータ管理

令和3年度収集作品の新規データ登録、出品履歴、データの修正等を行いました。

(オ) 燻蒸

6階燻蒸庫にて、令和元年度収集作品の燻蒸を行いました。

ウ 作品の確認

計画的に管理台帳により現品確認を行っています。今年度は、近世絵画・版画を中心に進めました。

エ 修復計画

(所蔵作品の修復・マット装・写真撮影)

修 復	千葉市を中心とした房総ゆかりの作家及び作品	2 点
	日本文化を形成する近世以降の美術品	0 点
	現代美術・その他	1 点
	計	3 点
額装及びマット装	千葉市を中心とした房総ゆかりの作家及び作品	0 点
	日本文化を形成する近世以降の美術品	41 点
	現代美術・その他	11 点
	計	52 点
写真撮影	千葉市を中心とした房総ゆかりの作家及び作品	10 点
	日本文化を形成する近世以降の美術品	30 点
	現代美術・その他	96 点
	計	136 点
写真の画像デジタル化		1,097 点

(2) 展覧会の開催に関する業務

展示事業は、美術館の基本事業であるという観点から、企画展と所蔵作品展を開催しました。企画展は、収蔵品以外の幅広い美術品に市民が触れる機会を提供することと、調査研究の成果を市民に公開すること、また別の観点では、美術館の来館者増を図る意味でも重要なものです。美術館が収集した美術品などを、市民等が広く鑑賞し、学習できるように所蔵作品展を開催しました。

【企画展】

企画展名	千葉県制 100 周年記念 大・タイガー立石展 POP-ART の魔術師
期 間	令和 3 年 4 月 1 0 日 (土) ～ 7 月 4 日 (日) 8 3 日間
主 催	千葉県美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
巡回先	青森県立美術館、高松市美術館、埼玉県立近代美術館、うらわ美術館 (同時開催)
内 容	福岡に生まれた立石紘一 (たていし こういち・1941 年～1998 年) は 1963 年の読売アンデパンダン展でデビューし、その後みずから「タイガー立石」と名乗り、日本のポップ・アートを代表する作家として広く知られました。60 年代後半にはマンガの世界でも活躍し、多くの子どもたちが口にした「ニャロメ」ということばは彼の造語でした。60 年代末にはイタリアに渡り、10 年以上同地を中心に活躍。82 年から日本に活動の拠点を移し、85 年からは千葉縣市原市に住み、協力者たちとともにさまざまな情報を発信しました。本展覧会では初期から晩年までの油彩、版画及びマンガや絵本の原画など約 200 点で構成しました。
入場者数	有料 9,282 人 無料 4,867 人 合計 14,149 人
観覧料	一般 1,200 (960) 円 大学生 700 (560) 円 * () 内は前売り * 小・中学生、高校生は無料

企画展名	千葉県制 100 周年記念 平木コレクションによる 前川千帆展
期 間	令和 3 年 7 月 1 3 日 (水) ～ 9 月 2 0 日 (月祝) 6 7 日間
主 催	千葉県美術館
巡回先	なし
内 容	前川千帆 (まえかわせんぱん : 1888-1960) は、恩地孝四郎・平塚運一とともに「御三家」と称された、近代日本を代表する創作版画家です。京都に生まれ、漫画家として名を成すかたわら木版画を手がけ、清澄な彫摺と躍動感のあるユーモラスな造形により独自の作風を拓いたその作品は、今なお色褪せない魅力を有します。また近年、日本のアニメーション草創期に少なからぬ役割を果たした事実も掘り起こされ、マンガやアニメがクールジャパンの象徴として評価される今こそ再検証すべき作家と言えるでしょう。 1977 年にリッカー美術館で開催された「前川千帆名作展」以来、44 年ぶりの大回顧展となった本展は、浮世絵の大コレクションで知られる公益財団法人平木浮世絵財団の所蔵品を中心に、約 350 点の作品から前川千帆の版業を総覧しました。
入場者数	有料 3,746 人 無料 3,536 人 合計 7,282 人

観覧料	一般 1,200(960)円 大学生 700(560)円 *()内は前売り *小・中学生、高校生は無料
-----	---

企画展名	コレクション展 江戸絵画と笑おう 明治の戯画も大活躍!
期 間	令和3年7月13日(水)～9月20日(月祝) 67日間
主 催	千葉県美術館
巡回先	なし
内 容	千葉県美術館のコレクションの中から「笑い」をキーワードとして、現代の私たちにも自然に楽しめる、親しみやすい作品を集めて展示しました。犬や猫たちの無敵のかわいさに「うふふ」と頬がゆるむ動物画、ウィットに富む図柄に思わず「くすり」とさせられる戯画、ユーモアを交えて教義を伝える禅画など、その魅力は実に様々です。多彩な作品と触れ合う、和やかなひと時を提供しました。
入場者数	有料 488人 無料 7,368人 合計 7,856人
観覧料	一般 500(400)円 大学生 400(320)円 *()内は前売り *小・中学生、高校生は無料

企画展名	千葉県制100周年記念 福田美蘭展 千葉県美コレクション遊覧
期 間	令和3年10月2日(土)～12月19日(日) 74日間
主 催	千葉県美術館
巡回先	なし
内 容	福田美蘭(1963-)は、東京藝術大学を卒業後、最年少での安井賞や国際展での受賞等、国内外での活躍を通して独自の作風を切り拓き、絵画の新たな可能性に挑戦し続けている美術作家です。 本展では、千葉県美術館のコレクションから、自らが選定した江戸から明治時代の美術をきっかけに、新たに創作された作品を中心に展示しました。
入場者数	有料 5,535人 無料 4,874人 合計 10,409人
観覧料	一般 1,200(960)円 大学生 700(560)円 *()内は前売り *小・中学生、高校生は無料

企画展名	ジャポニスム―世界を魅了した浮世絵
期 間	令和4年1月12日(水)～3月6日(日) 53日間
主 催	千葉県美術館
巡回先	なし

内 容	19世紀後半～20世紀初め、西洋に輸出された日本の美術工芸品は、ジャポニズムと呼ばれる動向となり、西洋の美意識に大きな影響を与えました。ジャポニズムの展覧会は、これまで主に西洋美術史の観点から企画されてきましたが、本展では、これを浮世絵表現の特性を理解するきっかけとして提示しました。アメリカのメトロポリタン美術館やロシアのプーシキン美術館を含む国内外から出品された浮世絵及びジャポニズムの西洋絵画・版画約200点で構成しました。
総入場者数	有料 12,266人 無料 6,003人 合計 18,269人
観覧料	一般 1,500(1,200)円 大学生 800(640)円 *()内は前売り *小・中学生、高校生は無料

企画展名	第53回千葉市民美術展覧会/千葉市美術館コレクション展「房総ゆかりの作家たち 特集展示：鈴木鷺湖と石井柏亭・鶴三」
期 間	令和4年3月12日(土)～3月31日(木) 20日間
主 催	千葉市美術協会、千葉市文化連盟 (共催：千葉市美術館)
内 容	市民から公募した作品及び千葉市美術協会会員の作品約800点を7部門に分けて展示しました。あわせて、千葉市美術館の所蔵作品の中から、房総ゆかりの作品を展示するコーナーを設け、鈴木鷺湖と石井柏亭・鶴三という、江戸時代後期からの三世代にわたる芸術家一家の作品世界を紹介しました。
入場者数	11,633人/14,083人
観覧料	無料

【常設展】

観覧料

観覧料	一般 300円 大学生 220円 *小・中学生、高校生は無料 *企画展観覧の方は無料
-----	--

常設展名	千葉市美術館コレクション選【1】	
期 間	令和3年4月7日(水)～5月5日(水・祝) 29日間	
内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	新収蔵特集 中川一政
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	春を愛でる/物語を描く
	〈現代美術〉	特集 サトウ画廊コレクションよりータイガー立石とともに
入場者数	有料 254人 無料 3,635人 合計 3,889人	

常設展名	千葉市美術館コレクション選【2】
期 間	令和3年5月7日(金)～6月6日(日) 31日間

内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	特集 石井光楓
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	薫風／行楽と旅
	〈現代美術〉	特集 サトウ画廊コレクションよりータイガー立石とともに
入場者数	有料 165人 無料 2,893人 合計 3,058人	

常設展名	千葉県美術館コレクション選【3】	
期 間	令和3年6月8日(火)～7月4日(日) 27日間	
内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	特集 石井光楓
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	富士の絶景／海と山に遊ぶ
	〈現代美術〉	特集 サトウ画廊コレクションよりータイガー立石とともに
入場者数	有料 137人 無料 8,809人 合計 8,946人	

常設展名	千葉県美術館コレクション選【4】	
期 間	令和3年7月7日(水)～8月1日(日) 26日間	
内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	特集 寺崎武男
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	納涼と祝祭
	〈現代美術〉	特集 杉本博司
入場者数	有料 243人 無料 2,972人 合計 3,215人	

常設展名	千葉県美術館コレクション選【5】	
期 間	令和3年8月3日(火)～9月5日(日) 34日間	
内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	特集 寺崎武男
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	祝祭／躍動する体
	〈現代美術〉	特集 杉本博司
入場者数	有料 207人 無料 3,427人 合計 3,634人	

常設展名	千葉県美術館コレクション選【6】	
期 間	令和3年9月7日(火)～10月3日(日) 27日間	
内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	特集 深沢幸雄
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	秋の風情／震災と復興

	〈現代美術〉	特集 杉本博司
入場者数	有料 372人 無料 3,358人	合計 3,730人

常設展名	千葉県美術館コレクション選【7】	
期 間	令和3年10月5日(火)～10月31日(日) 27日間	
内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	特集 深沢幸雄
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	秋の風情／見立て・やつし絵／パロディー
	〈現代美術〉	特集 吉澤美香
入場者数	有料 163人 無料 3,258人	合計 3,421人

常設展名	千葉県美術館コレクション選【8】	
期 間	令和3年11月2日(火)～12月5日(日) 34日間	
内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	房総ゆかりの作家たち 自画像と人物像 特集 渡辺崋山
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	顔・顔・顔
	〈現代美術〉	特集 吉澤美香
入場者数	有料 273人 無料 4,827人	合計 5,100人

常設展名	千葉県美術館コレクション選【9】	
期 間	令和3年12月7日(火)～12月26日(日) 20日間	
内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	房総ゆかりの作家たち 自画像と人物像 特集 渡辺崋山
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	武士の粹／戦争の周辺
	〈現代美術〉	特集 吉澤美香
入場者数	有料 196人 無料 3,370人	合計 3,566人

常設展名	千葉県美術館コレクション選【10】	
期 間	令和4年1月4日(火)～2月6日(日) 34日間	
内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	布施コレクション～版画の楽しみ
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	新春の寿ぎ 虎・とら・トラ
	〈現代美術〉	特集 書一第二のジャポニスム
入場者数	有料 344人 無料 6,144人	合計 6,488人

常設展名	千葉県美術館コレクション選【11】	
期 間	令和4年2月8日(火)～3月6日(日) 27日間	

内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	布施コレクション～版画の楽しみ
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	冬の楽しみ
	〈現代美術〉	特集 書一第二のジャポニスム
入場者数	有料 151人 無料 13,528人 小計 13,679人	

常設展名	千葉市美術館コレクション選【12】	
期 間	令和4年3月8日(火)～4月3日(日) 27日間	
内 容	〈房総ゆかりの作家・作品〉	布施コレクション～版画の楽しみ
	〈近世・近代の日本絵画と版画〉	花づくし
	〈現代美術〉	特集 書一第二のジャポニスム
入場者数	有料 537人 無料 682人 小計 1,219人	

(3) 教育普及に関する業務

美術館を身近に感じ、展示内容や美術館活動をより深く理解してもらうために、展覧会に関連した各種講座・講演会・ギャラリートークはもとより、常設展示室等の拡張リニューアル諸室を活用した鑑賞教育事業、こどもアトリエでの事業「つくりかけラボ」、ワークショップルームを活用したワークショップ・パートナーによる企画など、新規事業も大幅に加えて実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催形態などを大幅に変更し、中止としたものもありました。

ア 展覧会及び美術全般に関する解説・講座・講演会等の実施

(ア) 展覧会場における解説(ギャラリー・トーク及びレクチャー)

会 場	目 的	開催回数	参加者数(人)
美術館展示室	担当学芸員等によるギャラリートークを通じて、観覧者に作品への理解を深めてもらいました。		
関係展覧会	担当学芸員	開催日	参加者数(人)
中止			

(イ) 展覧会に関連する講座・講演会・イベント等

a 企画展関連の講演会

種 別	内 容	回数	参加者数(人)
-----	-----	----	---------

講演会・イベント	企画展の趣旨や出品作品についての理解を深めてもらえるような内容の講演会・イベントを開催しました。	2回	合計 115
開催	講座名等	講師	参加者数(人)
7/25	講演会 「前川千帆と温泉へ行こう-版画浴泉譜の世界-」	森山悦乃(公益財団法人平木浮世絵財団主任学芸員)	35
2/20	講演会 「ジャポニスムと浮世絵」	及川茂 (日本女子大学名誉教授)	80

b 市民美術講座

種別	内容	回数	参加者数(人)
市民美術講座	千葉県美術館の活動について理解してもらうために、学芸員が、展覧会やコレクションに関わる作家・作品についての講座を開催しました。	7回	合計 415
開催	講座名等	講師	参加者数(人)
5/22	極私的タイガー立石論	藁科英也(上席学芸員)	53
6/26	サトウ画廊コレクションから見るタイガー立石	森啓輔(学芸員)	58
10/23	現代美術の一傾向-引用 黒田清輝の作品を例に	山梨絵美子(館長)	43
11/6	イメージ遊びを楽しむ-浮世絵と見立・やつし	田辺昌子(副館長兼学芸課長)	53
12/12	ミカタ案内人のチャレンジエドゥケーターによる鑑賞ワークショップの実践紹介	畑井 恵(学芸員)	42
2/6	ジャポニスムを通して浮世絵を視る	田辺昌子(副館長兼学芸課長)	92
2/27	ジャポニスムとアメリカの画家たち	山根佳奈(主任学芸員)	74

c 鑑賞補助ツールの制作と活用

内容			回数	作成数(部)
企画展にあわせ、主に若年層や美術の知識の少ない来館者を対象として、ワークシートやセルフガイドを制作し活用しました。			6回	合計 2,522
展覧会	内容	対象	作成部数	

大・タイガー立石展	とらをさがせカード	3歳以上	212
常設展	はっけんツール	全年齢	84
	ふかめるガイド	小学校中学年～	149
美術館探検隊（館内マップ）	探検のしおり	全年齢	557
前川千帆展	センパンさんのほのぼの版画ワールドへようこそ	小学校低学年～	300
福田美蘭展	千葉県美コレクション遊覧「ミカタツール」	小学校中学年～ 高校生	370
ジャポニスム展	「ジャポニスムタイムズ」ワークシート	小学校中学年～	850

d ワークショップ

内 容		回数	参加者数（人）
外部の専門家に講師を依頼するもの、学芸員が中心となって企画するもの の他、新設の子どもアトリエの関連企画を開催。多色摺木版画体験などボラ ンティアの自主的な活動や、登録パートナーによるワークショップもすすめ ました。		41回	合計 9,523
開催	プログラム名等	講 師	参加者数（人）
4/1 ～ 4/4	常設展関連オンラインワークショップ 「ふいて・ころがし・にじませて ～ いろであそぼう」	石橋陽子（美術作家・アトリエま るさんかくしかく主宰）	20
4/6 ～ 5/16	ミュージアムショップ連携企画「エン トランス・ギャラリーvol.2 清水裕 貴」	清水裕貴（写真家／小説家）	1,394
5/1 ～ 5/5	ミュージアムショップ連携企画「エン トランス・ギャラリーvol.2 清水裕 貴」関連イベント「夢の遺失物写真 館」	清水裕貴（写真家／小説家）	18
5/1 ～ 5/30	大・タイガー立石展関連オンラインワ ークショップ「おうちでポーズを決め て、ドット絵風なデジタル必殺技カー ドにしよう！」	田口由佳（学芸員）、上田美里 （教育普及嘱託員）	7
5/16	登録パートナーによるワークショップ 「ダンス×アソビ ～ダンスなあそびを 発明しよう！～」	長瀬陽子（ダンサー・DANCE ASOBU CREW 主宰）	31
6/19	大・タイガー立石展関連ワークショッ プ「美術館でポーズを決めて、ドット 絵風な必殺技バッジをつくろう！」	田口由佳（学芸員）、上田美里 （教育普及嘱託員）	6
6/22	登録パートナーによるワークショップ 「泥から染めるべんがら泥染め」	祈織-INORI- 小塩敦子	11
6/27	登録パートナーによるワークショップ 「カラダを通して味わうアート vol.3」	高橋直裕（演劇ワークショップフ ァシリテーター）	9
7/13 ～ 9/12	江戸絵画と笑おう関連イベント「えど わんグランプリ 2021」	田口由佳（学芸員）、上田美里 （教育普及嘱託員）	2,898

	※オンラインで併催		
7/13 ~ 9/20	江戸絵画と笑おう関連オンラインワークショップ「うきうき浮人形 - つくって 浮かべて あそぼう」	田口由佳 (学芸員)、上田美里 (教育普及嘱託員)、池田陽子 (広報嘱託員)	1,021
7/13 ~ 3/31	江戸絵画と笑おう関連お楽しみ動画「どこでもえどわら！」	松岡まり江 (学芸員)、田口由佳 (学芸員)、池田陽子、上田美里 (教育普及嘱託員)	513
7/18	登録パートナーによるワークショップ「毎日使える小皿づくり」	羽山加奈子 (陶芸家)	14
8/1	登録パートナーによるワークショップ「マスキングインクと水彩 ~夏の花・光の表現を楽しむアート~」	美エイジング®協会代表 桜井まどか (アートセラピスト)	24
8/22	前川千帆展関連ワークショップ「手の中で動きだす！ぱらぱらマンガを作ってみよう」	あしたのんき (アニメーション画家)	16
8/28	登録パートナーによるワークショップ「あおげ！救え！ピヨとつくる夏祭り！ ~不思議なインクでオリジナル扇子を描こう~」	FLT (ワークショップクリエイター)	20
9/7, 14	登録パートナーによるワークショップ「木版画を楽しむ~創作への第一歩~」	宮山加代子 (木版画作家)	10
10/2~ 12/19	福田美蘭展関連立ち寄りワークショップ「むくむくカード」	監修：藤田百合 (エドゥケーター)、運営：田口由佳 (学芸員)、上田美里 (教育普及嘱託員)	703
10/16	福田美蘭展関連エドゥケーター・ラープログラム (あらわる★ミカタ案内人)「目の見えない白鳥さんと一緒に楽しむ美術鑑賞プログラム」	佐藤麻衣子 (エドゥケーター/プログラムコーディネーター)、白鳥建二 (全盲の美術鑑賞者)	10
10/31	福田美蘭展関連エドゥケーター・ラープログラム (あらわる★ミカタ案内人)「けむそう会？ ~あなたのもやもや、みんなでもくもく~」	小田久美子 (エドゥケーター)	38
10/31	登録パートナーによるワークショップ「カラダを通して味わうアート vol. 4」	高橋直裕 (演劇ワークショップファシリテーター)	6
11/2 ~ 12/22	ミュージアムショップ連携企画「エントランス・ギャラリーvol.3 末永史尚『覚え、ないませ』」	末永史尚 (現代美術家)	2,281
11/13	福田美蘭展関連エドゥケーター・ラープログラム (あらわる★ミカタ案内人)「みるみる『ミカタツール』」	藤田百合 (エドゥケーター)	4
11/14	ミュージアムショップ連携企画「エントランス・ギャラリーvol.3 末永史尚『覚え、ないませ』」関連コミュニケーション・プログラム「壁ぎわポッドキャスト『エントランス・ギャラリー』に目をむける 公開収録~千葉市美術館の学芸員さんについて~」	末永史尚 (現代美術家)、西山純子 (上席学芸員) 他	—
11/16	登録パートナーによるワークショップ「ストールを泥染めしてみよう」	祈織-INORI- 小塩敦子	9
11/21	登録パートナーによるワークショップ「陶器の鏡餅をつくろう！」	羽山加奈子 (陶芸家)	18

11/27	福田美蘭展関連エドゥケーター・ラリープログラム（あらわる★ミカタ案内人）「アナがあくほどミテみたら」	齊藤佳代（エドゥケーター／鑑賞ファシリテーター）	12
11/28	登録パートナーによるワークショップ「おうちでARTぬりえ～身近な画材や素材で自由に楽しもう～」	美エイジング®協会代表 桜井まどか（アートセラピスト）	21
12/5	登録パートナーによるワークショップ「ダンス×アソビ～ダンスなあそびを發明しよう！クリスマス ver.」	長瀬陽子（ダンサー・DANCE ASOBU CREW 主宰）	29
12/11	福田美蘭展関連エドゥケーター・ラリープログラム（あらわる★ミカタ案内人）「ずらしの鑑賞、ずらしの創作」	臼井隆志（アートエドゥケーター）・夏川真里奈（アートエドゥケーター）	12
12/12	ミュージアムショップ連携企画「エントランス・ギャラリーvol.3 末永史尚『覚え、ないませ』」関連コミュニケーション・プログラム「壁ぎわポッドキャスト『エントランス・ギャラリー』に目をむける 公開収録～ご質問にお答えします！～」	末永史尚（現代美術家）、庄子真汀（学芸員）	—
12/18	登録パートナーによるワークショップ「メリークリスマス☆ぴよんからのおくりもの～不思議なインクでクリスマスソックスに描こう～」	FLT（ワークショップクリエイター）	7
1/22, 23	ジャポニスム展関連コンサート「ジャポニスムをめぐる音楽～2台のベーゼンドルファーと共に～」	川口成彦（ピアノ）、中江早希（ソプラノ）	129
2/5	ジャポニスム展関連ワークショップ「空育『JAL 折り紙ヒコーキ教室』」	折り紙ヒコーキ協会認定指導員（JAL 職員）	45
2/11, 12	さや堂パフォーマンスプログラム「あり得た（る）かもしれないその歴史を聴き取ろうとし続けるある種の長い旅路、特に日本人やオランダ人、その他もろもろに関して」	mamoru（レクチャー、倍音笛）、So Oishi（DJ）、河合真人（声明）	49
2/19	時の蘇生・柿の木プロジェクト「柿の木植樹式」	森啓輔（学芸員）、柿の木プロジェクト実行委員会	45
2/19	時の蘇生・柿の木プロジェクト 植樹式関連ワークショップ「柿の木モビールをつくろう」	田口由佳（学芸員）、上田美里（教育普及囑託員）	22
2/20	登録パートナーによるワークショップ「トルコブルーの一輪挿し」	羽山加奈子（陶芸家）	16
2/23	常設展関連ワークショップ「ちばしば工房 エッチング、はじめての銅版画体験」	湊沢照晃（銅版画家）	15
2/27	登録パートナーによるワークショップ「カラダを通して味わうアート vol.5」	高橋直裕（演劇ワークショップファシリテーター）	9
3/12	登録パートナーによるワークショップ「どんどん進め！パオと一緒に大冒険！～不思議なインクでオリジナルトートバッグを描こう～」	FLT（ワークショップクリエイター）	6
3/20	登録パートナーによるワークショップ「マスキングインクと水彩～春を祝う・光の表現を楽しむアート～」	美エイジング®協会代表 桜井まどか（アートセラピスト）	25

e 夏休みの子ども向け鑑賞プログラム

内 容		回数	参加者数 (人)
夏季休業期間中に中学生だけの鑑賞のサポートや、子どもが展覧会鑑賞する際の相談を受けました。		0回	0
開催	プログラム名等	講 師	参加者数 (人)
中止			

f 中・高校生向けプログラム

内 容		回数	参加校数 (人)
美術館とその仕事についての理解を深め、美術館を積極的・主体的に活用し支える人材を育成するためのプログラムを開催しました。		1回	8
開催	講 師	学校名	参加者数 (人)
1/29	ミュージアムグッズを企画しよう！	大澤夏美 (ミュージアムグッズ愛好家)、丸山晶崇 (デザイナー)	8

g 講師の派遣による講座

内 容		回数	参加者数 (人)
市内の学校、公民館などから美術講座の依頼があった場合には、学芸員を派遣し、可能な限り対応しました。		0回	0
開催	講座名等 (主催者・場所)	講 師	参加者数 (人)
中止			

h 美術館公式ツイッター・インスタグラムの運営

イベントやワークショップの情報を発信し、美術館の新たな魅力を伝えました。

イ 学校等との連携事業の実施

(ア) 鑑賞教育の支援

a 鑑賞教育プログラム「みる・しる・できるびじゅつプログラム」

内 容	学校数	参加者数 (人)
学校からの来館について、新設の常設展示室・子どもアトリエ等を活用したプログラムを用意して対応しました。前年度まで小学校4年生以上を受け入れ対象としていましたが、プログラム刷新にともない低年齢層の受け入れも行いました。受け入れにあたっては、借上バスによる送迎も継続して実施した。公共交通機関を使つての来館にも同様のプログラムで対応しました。	27件 (23校) ※うち送迎バスによる鑑賞教育は17件	合計 920

感染症対策として、受け入れ人数の制限やボランティアによるサポートの中止、実施内容の一部変更を行いました。		
開催	学校名	参加者数（人）
5/14	わせがく高等学校 1～3 年生	26
6/7	おゆみ野南中学校（特支） 1.2 年生 ※	10
6/11	仁戸名小学校 4 年生	32
6/21	大宮中学校 2 年生 ※	50
7/3	椿森中学校（美術部）	36
7/19	草野中学校（美術部） ※	27
7/29	泉谷中学校（美術部）	11
7/30	貝塚中学校（美術部） ※	28
8/22	葛城中学校（美術部）	19
9/16	東上総児童相談所	30
10/6	大巖寺小学校 6 年生 ※	22
10/18	柏井小学校 4 年生 ※	35
10/25	稲浜小学校 3 年生 ※	25
10/26	畑小学校 5 年生 ※	35
10/29	畑小学校 4 年生 ※	37
11/2	花見川小学校 5 年生	46
11/5	椎名小学校 5 年生 ※	40
11/8	若松台小学校 3 年生	29
11/17	千葉聖心高等学校 2 年生	15
11/19	大椎小学校 6 年生	21
11/29	柏台小学校 6 年生 ※	57
12/3	花島小学校 2 年生 ※	23
12/20	土気南小学校 5 年生 ※	64
12/21	土気南小学校 5 年生 ※	66
1/12	柏井小学校 1 年生 ※	36
1/13	柏井小学校 6 年生 ※	26
2/21	真砂東小学校 4 年生 ※	74

※送迎バスによる鑑賞教育

(イ) 千葉県図工・美術担当等教職員一日研修

内 容	開催・回数	参加者数 (人)
千葉県教育研究会・造形部会のグループメンバーを中心に、美術館の活用と美術館活動への理解を促すための研修	実施なし	

(ウ) 美術科教員との連携

内 容	開催	参加者数 (人)
中学校美術部合同鑑賞会を開催 (船橋市立中学校)	11/17	合計 16

(エ) 中学生の職場体験学習

内 容	受入学校数	受入者数 (人)
中学校等と打合せのうえ、1～2日間生徒等を受け入れ、館内施設の見学や作業体験	1	2

(オ) 博物館実習

内 容	回数	受入校数 (校)
美術館の事業について、館内見学、作品の取り扱い方、作品の梱包のしかた、展覧会や普及プログラムの企画実習などを担当学芸員が指導しました。	4回	13
開催	学校名	参加者数 (人)
8/23 10/4～6、 11/1, 2, 4、12/6～8	実践女子大学、千葉大学、東京工芸大学、同志社大学、東北芸術工科大学、青山学院大学、女子美術大学、多摩美術大学、武蔵野美術大学、明治学院大学、昭和女子大学、日本女子大学、和洋女子大学	16

ウ ボランティアとの協働

(ア) ボランティアの養成および自主研修の主な内容

展覧会関連講義	感染症対策で中止となったギャラリートークに代わる活動を模索するため、「福田美蘭展」「ジャポニスム展」については、展覧会担当学芸員とボランティアによる展覧会に関する意見交換の場をオンラインで設けました。
学芸員ギャラリー・トークの聴講	感染症拡大に伴いギャラリートークを見合わせたため、中止しました。

自主的な研修	ボランティアのスキルアップのため、現代美術やコレクションに関するものなど自主勉強会を行いました。感染症対策のためオンラインでの開催にも取り組みました。
鑑賞リーダー学習会	感染症拡大に伴い鑑賞リーダー活動を見合わせたため、規模を縮小して実施しました。
もくもく会	版画技術の向上を目指し、基礎勉強会や多色摺りの体験会を実施しました。
その他	新鑑賞プログラム「みる・しる・できる びじゅつプログラム」における鑑賞リーダー活動の準備として、鑑賞教育の受入現場の見学や、各プログラムの詳細を学ぶための研修を実施しました。

(イ) ボランティアによる展覧会解説、講座、イベント、広報活動等の実施

a 展覧会解説(ギャラリー・トーク)

対面での活動は中止としたが、ギャラリートークに代わる活動として、常設展示室用作品ガイド「わたしのイチオシ」7～18号、企画展用作品ガイド「ボランティアと一緒に笑おう」2回を制作、受付にて配布した。

b 鑑賞リーダー活動(小・中・特別支援学校鑑賞教育推進事業のサポート)

中止

延べ回数(回)	延べ活動者数(人)
0	0

c ワークショップ

開催	内容	場所	延べ活動者数(人)
中止			
合 計			0

d ボランティアのスキルアップ

(a) 美術館のコレクションに関するボランティアの知識向上

担当学芸員より常設展示作品のキャプション・解説データを資料として毎月提供し、千葉市美術館のコレクションに関するボランティアの知識向上を図った。

エ 図書室の管理運営に関する業務

<図書室利用状況>

開室数（日）	利用者数（人）
347	9,497

<蔵書>

今年度に所蔵した数（冊）	総蔵書数（冊）
2,799	45,723

オ 託児ルームの活用

「ちばしば託児サービスデー」を各企画展の会期中に実施

実施日時	企画展名称	利用人数	特記
5/22	大・タイガー立石展 POP-ART の魔術師	1	
7/25	平木コレクションによる 前川千帆展	3	
9/4	平木コレクションによる 前川千帆展	0	中止
11/23	福田美蘭展 千葉市美コレクション遊覧	5	
1/15	ジャポニスムー世界を魅了した浮世絵	4	
2/26	ジャポニスムー世界を魅了した浮世絵	0	中止
計		13	

カ 地域との連携によるアウトリーチプログラム等

(ア) 千葉アートネットワーク・プロジェクト（通称 WiCAN）

イベント名	WiCAN プロジェクト・ワークショップ （君の中にいる）ヒーロー ～a hero (lies in you) ～
講師	山本高之（アーティスト）
ファシリテーター	WiCAN プロジェクトメンバーの大学生（千葉大学）
主催	千葉大学教育学部芸術学研究室、千葉市美術館
開催期間	令和4年2月20日（日）～3月13日（日）に4回開催
内容	身の回りのささいなことから社会の大きな問題まで、大学生と共にコミュニケーションを重ねながら、オリジナルのヒーロー像を作っていくワークショッププログラムを開催。コスチュームを制作し、ストーリーを組み立て、映像作品を制作しました。
会場	オンライン開催 3/13のみ美術館5階 ワークショップルームで実施（撮影）
参加者数	小学生 1人（事前申込）

(イ) 市内外の諸団体との連携

該当なし

(ウ) 千葉大学等との連携

- ・千葉大学普遍教育教養展開科目『展示をつくる』『博物館実習』共通ガイダンス
5/8 受講人数 10 人
- ・「千葉大学普遍教育教養展開科目『展示をつくる A』『博物館実習 B』企画展示」
中止
- ・インターンシップの受け入れ
該当なし

(エ) 県内の美術館・博物館との連携

a 近隣美術館連絡会（県内 5 館）の開催

- ・連絡会議の開催 中止
- ・千葉市美術館専門研修会の開催
7/15「美術館と文化財防災」（千葉市美術館・千葉県教育庁・千葉県立美術館・DIC 川村記念美術館）

キ つくりかけラボ（子どもアトリエ）の活用

内 容		回数	参加者数（人）
「コミュニケーションがはじまる」、「五感でたのしむ」、「素材にふれる」、いずれかのテーマに沿った作品作りが可能なアーティスト 1 組を、3 ヶ月を 1 クールとして招聘する事業。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、「参加・体験」の仕組みを工夫しながら、4 本の企画を実施した。リピーター育成のためのスタンプカード「つくりかけパスポート」は新たに 499 枚配布し、837 回押印しており、事業が少しずつ浸透してきたといえる。		4 回	9,934
開催	テーマ・タイトル	講 師	参加者数（人）
4/15～7/4	つくりかけラボ 03 武藤亜希子 C+H+I+B+A ART シェアばたけ	武藤亜希子	1,985
7/14～10/3	つくりかけラボ 04 飯川雄大 デコレータークラブ -0 人もしくは は 1 人以上の観客に向けて	飯川雄大	2,368
10/16～12/26	つくりかけラボ 05 松本力 SF とりはうたう ひみつを	松本力	2,355
1/13～4/3	つくりかけラボ 06 岩沢兄弟 キメラ遊物園	岩沢兄弟	3,226

関連事業の実施

a C+H+I+B+A ART シェアばたけ

開催	事業名	講師	参加者数 (人)
4/15～7/4	オープンワークショップ「きみの実をつくろう」	—	1,144
4/25, 5/4, 5/30	アーティストワークショップ「p+l+a+n+t」	武藤亜希子	45
5/16	アーティストワークショップ「ぐるぐる+ひょうたん」	武藤亜希子	15
6/13	アーティストワークショップ「ぐるぐる+花」	武藤亜希子	14
6/27	アーティストワークショップ「このみ+きのみ」	武藤亜希子	11

b デコレータークラブ -0 人もしくは1人以上の観客に向けて

開催	事業名	講師	参加者数 (人)
7/14～10/3	パラパラアートブックラリー「猫の小林さんのパラパラブックをつくろう！」	—	1,173
9/11, 9/18, 9/25, 10/2	ガイドツアー	飯川雄大	54

c SF とりはうたう ひみつを

開催	事業名	講師	参加者数 (人)
10/16～12/26	スズメの目撃情報収集シート	—	323
10/16～12/26	宇宙巣箱のSFラジオ局：すこしふしぎな話収集シート	—	205
10/24	アーティストトーク	松本力	6
11/5	アニメーションワークショップ「SF (スズメフィクション)」	松本力、VOQ (音楽家)	16
11/23～12/26	宇宙巣箱のSFラジオ局：すこしふしぎな話 録音 (ラジオDJ体験)	—	37
12/11	VOQ+松本力 ライブパフォーマンス	VOQ、市川平 (特殊照明作家)、松本力	25

d キメラ遊物園

開催	事業名	講師	参加者数 (人)
1/13～4/3	キメラ遊び	—	2,962
2/27	岩沢兄弟のキメラ遊物園マルシェ	ゲスト：岩沢兄弟+Tokyo Laser lab、ゴキチカ、デイリーポータルZ編集部、どじらぼ、HELLO GARDEN、ひつじシール、ミック	250

		演奏・DJ：おきあがり赤ちゃん、Rent:A*Car（いわさわたかし・保田憲一）、どいちゃん（元 OMCHANTONE）、田中元子 a.k.a オイラー、DJ Foomin 協力：café de saizan、盛	
3/6	アーティストワークショップ「なんか変？キメランドの地図を作ろう！」	岩沢兄弟、協力：atelier なないろ	32
3/10～4/3	あそことば	—	298
3/26, 3/27, 4/2, 4/3	持ち帰りワークショップ「はじめよう、プラカゴのある暮らし。」	岩沢兄弟	134

f 通年

開催	事業名	講師	参加者数（人）
会期中通年	つくりかけパスポート	—	837

ク みんなでつくるスタジオ（ワークショップルーム）の活用

内 容			
<p>企画展・常設展に関連するワークショップをはじめ、親子向けのワークショップ・イベント、パフォーマンスや滞在型の制作活動など、多様なニーズに対応できるスタジオ。</p> <p>「みる・しる・できるびじゅつプログラム」などの学校連携プログラムの会場としたほか、企画展・常設展関連のワークショップ、登録パートナーによるワークショップの会場として活用した。また、対面型のワークショップの代わりとなるオンラインプログラムや動画コンテンツの制作にも活用した。</p>			
開催	講座等種別	場 所	参加者数（人）
5/1 他	企画展関連イベント・ワークショップ（6件、うちオンライン2件）	ワークショップルーム オンライン	55
4/1 他	コレクション理解のためのイベント・ワークショップ（5件、うちオンライン4件）	ワークショップルーム オンライン	44
5/16 他	親子向けのイベント・ワークショップ（5件）	ワークショップルーム	102
5/14・6/7・6/11・6/21・7/3・7/19・7/29・7/30・8/22・9/16・10/6・10/18・10/25・10/26・10/29・11/2・11/5・11/8・11/17・11/19・11/29・12/3・12/20・12/21・1/12・1/13・2/21	鑑賞教育プログラムの実施（延べ27校）	ワークショップルーム	920

11/5	「つくりかけラボ」関連イベント・ワークショップ	ワークショップルーム	16
開催中止	ボランティアスタッフによるワークショップ	—	—
1/29	中・高校生向けプログラム	ワークショップルーム	8
6/2	中学生の職場体験学習	ワークショップルーム	2
5/16・6/22・6/27・7/18・8/1・8/28・9/7・9/14・10/31・11/6・11/21・11/28・12/5・12/18・2/20・2/27・3/12・3/20	登録パートナーによるワークショップ	ワークショップルーム オンライン	265
7/24・3/6	びじゅつライブラリー関連イベント	ワークショップルーム	24

ケ びじゅつライブラリー（4階図書室）の活用

内 容			
<p>美術を中心に多様な図書約4,500冊を常時開架し、幅広い来館者の利用に応える美術図書室として通年で開室した。子ども向け・若年層向けの選書を強化し、展示室や他の諸室とも連動したイベントの開催により、美術情報の発信・交流基地として地域の文化的環境づくりに努めた。また、外部へ依頼した選書コーナーの設置や、作家から譲り受けた資料の展示など、美術や図書との新たな接点づくりを行うことができた。</p>			
講座種別等	講座名等	開催日	参加者数（人）
選書・特集コーナーの設置	企画展関連図書特集コーナー	4/1～3/31	9,497
	常設展関連図書特集コーナー	4/1～3/31	9,497
	武藤亜希子氏による選書	5/20～7/4	1,647
	現代作家による選書コーナー「あのととき読んだ、あの本が」	10/16～12/26	1,669
	常設展関連図書特集「元永定正のえほん」	1/1～3/31	1,806
書籍や資料等による展示企画の実施	「図書室で新たな出会いを生む『余白しおり』をつくろう 余白書店 in 千葉市美術館」報告と紹介	4/1～30	556
	「たくさんのふしぎ」特集展示	4/17～6/30	2,030
	きくちちき《どうぶつ》資料展示	11/20～3/31	2,671
イベント	ワークショップ「おもいで色見本帳をつくろう」（講師：書架 Lab.）	7/24	14
	ワークショップ「展覧会カタログ大解剖座談会」（講師：丸山晶崇）	2/13	9

	ワークショップ「ガリ版でつくるリトルマガジン」(講師：神崎智子)	3/6	10
鑑賞教育プログラムの実施	みる・しる・できるびじゅつプログラム内「よむよむびじゅつ」	開催中止	0

(4) 調査研究に関する業務

ア 研究テーマ及び発表

(ア) 浮世絵版画の色材に関する研究

ジャポニスム展に関連し、新たに輸出用に浮世絵版画を加工した縮緬絵を視野に入れ、制作年代の問題等、色材のことを絡め、学芸員が「江戸後期の文化・芸能におけるパトロネージュ構造の解明：吉原を中心に」をテーマとした研究会で発表した。

(イ) 亜欧堂田善の研究

江戸時代後期に活躍した洋風画家である亜欧堂田善(1748-1822)について、田善にゆかりの深い福島県立美術館と共同で作品の調査・研究を行った。本年度は須賀川市立博物館・早稲田大学図書館・秋田県立美術館・秋田市立千秋美術館・神戸市立博物館・東京国立博物館・東京藝術大学大学美術館・府中市美術館・神奈川県立歴史博物館・広島県立歴史博物館・立花家史料館等で作品調査を行った。

(ウ) コレクション(現代美術)のデジタルアーカイブ

コレクション作品(現代美術)及び関連する写真、印刷物等資料のデジタルアーカイブに関して、常設展の「特集：吉澤美香」の展示作品を撮影し、作家、関係者へのインタビュー調査を行った。作家によるインタビュー映像を含めて詳細な記録を取り、今後のデジタルアーカイブの構築に向けて、それらデジタルデータを有効活用していく。

(エ) ボランティアスタッフの育成

自ら企画立案し、周囲を巻き込みながら活動を実らせていくといった、主体的に活動できるボランティアの育成をめざしています。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動の内容が限られましたが、オンラインでの自主勉強会の実施や、常設展示及び企画展でのおすすめの作品について、ギャラリー・トークに代わる来館者向け配布物を作成するなど共に検討しました。

(オ) 市民との協働

登録ワークショップ・パートナー制度を設けた中で、市民と美術館の協働を進めていくにあたり、制度への関心を幅広い世代の市民にアピールするための手法として、オンラインの活用などを検討した。

イ 図録、研究紀要の発行

(ア) 図録の発行

各企画展の図録を編集、制作、執筆をし、調査研究の成果を発表するとともに、観覧者への便を図りました。また所蔵品等に関する調査研究をまとめ、研究紀要を発行しました。

関係展覧会	部数（部）	発行月
大・タイガー立石展 POP-ART の魔術師	2,850	4月
平木コレクションによる 前川千帆展	1,500	7月
福田美蘭展 千葉市美コレクション遊覧	2,000	9月
ジャポニスム-世界を魅了した浮世絵	2,500	1月
千葉市美術館研究紀要 採蓮 第23号	720	4月
千葉市美術館研究紀要 採蓮 第24号	720	3月

(5) ミュージアムショップ運営に関する業務

開店期間：展覧会開催中

時 間：展覧会開場時間に同じ(日～木曜：10:00-18:00、金・土曜：10:00-20:00)。

運営方法：展覧会図録のほか、美術館に相応しい商品を選定して販売しました。

延べ営業数：249日

(6) 友の会運営事業

令和4年3月末現在、一般・ライト会員数1,492人でした。

市民等の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を図り、芸術文化の振興に資するため、チラシ、ホームページ等で積極的に友の会会員の獲得に努めました。

また、再入会の促進に向けた案内送付等を実施しました。

<イベント・講座>

開催	イベント名	参加者数（人）
中止		
合 計		

3 施設使用許可

<施設使用許可・特別利用許可・不許可処分の件数>

	施設名	許可件数（件）
施設使用許可	市民ギャラリー	12
	講座室	98
	講堂	98
	さや堂ホール	102
	ワークショップルーム	37
	市民アトリエ1	25
	市民アトリエ2	50
特別利用許可		44

不許可処分	0
-------	---

<施設利用状況>

施設名	延べ利用数	利用者数(人)
市民ギャラリー	163	3,696
講座室※	242	1,196
講堂※	259	3,797
さや堂ホール※	394	6,390
ワークショップルーム※	169	1,089
市民アトリエ1※	391	263
市民アトリエ2※	297	570

※1日3コマ(10:00~13:00、13:00~17:00、17:00~21:00)

<施設使用の状況及び利用率の目標> 別紙「貸出施設使用者報告」のとおり

4 施設維持管理業務

(1) 保守管理業務 別紙「設備維持管理に関する年間計画・実績表」参照

- ア 建築物保守管理業務
- イ 建築設備の保守管理業務
- ウ 特殊建築物及び建築設備等定期点検
- エ 備品の管理

千葉県から貸与されている備品については、適正に管理を行いました。

また、データベースソフト(I.B.MUSEUM)を利用し、備品台帳を整備しています。

図録等の管理について、台帳を作成し、在庫数を把握するなど、適正に実施しました。

(2) 環境維持管理業務

- ア 清掃及び廃棄物の処理

日常清掃と併せて、施設の利用状況に応じ随時行いました。

廃棄物については、適正に処理しました。

- イ 環境衛生管理業務

「環境物環境衛生管理基準」その他関係法令(ビル管理法、労働安全衛生法等)を遵守し適正に行いました。

- ウ 施設保全業務 別紙「設備維持管理に関する年間計画・実績表」参照

エ 修繕

修繕期間	修繕名/場所	修繕理由
6/12	消防用設備【スプリンクラー設備】 補給水槽逆止弁交換修繕/Ph 階	消防設備点検により当該設備部品の不良、要交換の指摘あり
6/12	消防用設備【泡消火設備】 圧力計等交換修繕/B3 階ポンプ室	消防設備点検により当該設備部品の不良、要交換の指摘あり
7/1～ 7/31	空調機設備【空調機加湿器（AHU7-2）】 部品交換修繕/7 階展示室 7.8 系	加湿器の故障により室内空調に支障をきたしているため、不良部品の交換を行い正常な機能回復を図る。
7/1～ 7/31	空調機設備【空調機加湿器（AHU8-2）】 部品交換修繕/8 階展示室 2.3.4 系	加湿器の故障により室内空調に支障をきたしているため、不良部品の交換を行い正常な機能回復を図る。
10/28	消防設備【屋内消火栓設備】 メインバルブ交換修繕/B 3 階機械室	バルブ不良により閉止不能のため交換を必要とする。
11/15.16	消防用設備【誘導灯】修繕/各階	消防設備点検において不良判定となり要改修の指摘を受けている
11/19	消防用設備【不活性ガス消火設備】 制御盤バッテリー交換修繕/オイルタンク室・CO2 ボンベ室	消防設備点検において不良判定となり要改修の指摘を受けている
11/19	消防用設備【自動火災報知設備】 監視盤バッテリー交換修繕/中央監視室	経年劣化により不良となった監視盤用バッテリーを交換する (設置後 22 年経過)
12/8.9	建築設備 窓庇雨漏り修繕/1 階エントランス	荒天時等に 1 階エントランス天井より漏水があり、利用者の通行に支障をきたすため
12/1～25	建築設備【地下駐車場送風機設備】 部品交換修繕/地下 2 階	構成部品の劣化不良により駐車場階の換気に支障をきたしているため
12/1～25	消防用設備【ハロゲン化消火設備】 ハロン制御盤基盤交換修繕/バツファ階	消防設備点検において装置の作動不良を確認。要改修指摘事項であるため。
1/7～ 1/31	空調設備【熱源機器/ヒートポンプ】 測温抵抗体及び変換器交換修繕/地下 3 階	センサー部の不良により必要な熱源の確保に支障をきたしている。

2/1～ 2/25	消防設備【排煙設備】排煙設備修繕/地下2階排煙口	消防設備点検において装置の作動不良を確認。要改修指摘事項であるため。
2/1～ 2/25	空調設備【電動弁操作機】部品交換修繕 /7階展示室系	機器の不良により空調機の冷水制御に支障をきたしている電動弁操作機を交換し正常な機能を回復する。
3/1～ 3/31	衛生設備【トイレ】洗面台自動水栓修繕 /11階、B1階女性用トイレ	機器の故障により自動水栓および水石鹸がでない。
3/11～ 3/31	建築設備【懸垂幕装置】部品交換修繕 /美術館脇自由通路部	巻上機の故障およびワイヤーの破損により使用できなくなっている。
3/18～ 3/31	建築設備【図録保管用物品棚】交換修繕/7階倉庫	経年劣化により強度不足を指摘された物品棚の交換修繕。
3/23～ 3/31	燻蒸設備【燻蒸庫気化器】ヒーター部交換修繕/6階収蔵庫	経年劣化によるヒーター部の不良により燻蒸作業ができない。
3/24～ 3/31	建築設備（内装）【ブラインド】部品交換修繕/11階講堂	経年劣化によりルーバーの上下に支障をきたしている。

オ 植栽等保全業務

実施日	内容
4/1～（随時）	花壇の手入れ、散水作業等

(3) 保安警備業務

ア 警備員の常駐

警備員が24時間常駐し、警備業務を行った。

イ 警備員の巡回

1日5回の定期巡回と必要に応じた巡回を行った。

ウ 機械警備

必要に応じ機械警備を実施し、24時間監視業務を行った。

【防災訓練実施計画】

12/7	自衛消防隊総合訓練	職員、総合案内業務、監視員及びテナント関係者	46人参加
3/24	自衛消防隊総合訓練	職員、総合案内業務、監視員及びテナント関係者	20人参加

(4) 駐車場管理業

駐車台数

機械式	平面	駐車場合計	荷解き場
5,151 台	7,433 台	15,211 台	2,627 台

満車による断り 434 台

(5) 総合受付業務

別紙「設備維持管理に関する年間計画・実績表」参照（業務日報は事務所で保管）

5 経営管理業務

(1) モニタリング

ア 利用者アンケート実施計画

(ア) 展覧会入場者アンケート

展示室出口でアンケートを実施しました。アンケートは可能な限り当中に担当学芸員と広報担当職員が目を通し、改善できるところはすぐ反映しました。集計結果は、全体会議で広報担当が報告し、さらなる改善点などを検討しました。

(イ) 施設利用者アンケート

施設使用者へのアンケートを実施しました。重要な指摘はありませんでした。

イ 運営会議（美術館ふれあい会議）

中止

(2) 施設の利用促進のための方策

ア 美術館アクセス案内向上

(ア) 交通案内・標識・建物内外のサインの見直し等を行いました。

(イ) バス停留所での案内や車内アナウンス等についてバス業者に働きかけを実施しました。

(ウ) 近隣施設、地元商店、交通機関等への働きかけを行い、美術館の認知度を高めました。

イ 効果的な広報

(ア) ホームページのリニューアル、SNS の活用

昨年度リニューアルしたホームページを引き続き使いやすいうように改善し、アクセスしやすいように整備しました。また、引き続き SNS（ツイッターやインスタグラム）を活用し、新規層の開拓に努めました。

ツイッターでは展覧会の見どころやイベントについての情報発信により、前年度比で表示数（インプレッション数）は5,497,468回、フォロワー数は1,368人増加し、年度末時点でフォロワー数は8,226人となり、目標の7,000人を超えることができました。

(イ) マスコミと連携

広報効果のあるチケットプレゼントやモニター鑑賞会による企画等と連携しました。また、情報発信と取材対応に努め、広く広報活動を行いました。

(ウ) 有料広告

費用対効果を勘案しつつ、展覧会ごとに広告の効果を考え効率的に実施しました。

(エ) 月刊誌・週刊誌等への情報提供

月刊誌と週刊誌などによって時期をずらしてタイミングを見極めながら多様なメディアに向けてプレスリリースを送付しました。

(オ) 市のメディアの活用

市長定例記者発表や市政だより等の市のメディアを積極的に活用し、より効果的な広報となるように努めました。

(カ) 展覧会スケジュール

令和4年分の展覧会年間スケジュールを制作、令和4年3月から配布しました。

(キ) 美術館ニュース

媒体	時期	部数（部）
美術館ニュース「C'n」98号の発行	6月	8,000
美術館ニュース「C'n」99号の発行	8月	8,000
美術館ニュース「C'n」100号の発行	10月	8,000
美術館ニュース「C'n」101号の発行	1月	8,000

(3) ショップ・レストラン利用者数 別紙「総入館者数」のとおり

(4) 総入館者数 別紙「総入館者数」のとおり

6 自主事業の実施

(1) 講師派遣

開催	講座名（主催者・場所）	講師	回数
4/11	吉田博講演会（パラミタミュージアム）	西山純子（上席学芸員）	1
6/12	武蔵野美術大学企画展関連イベント参加作家 ストローク（武蔵野美術大学）	森啓輔（学芸員）	1
中止	川瀬巴水後援会（大田区立郷土博物館）	—	—
9/6～ 12/20	芸術文化政策特論（武蔵野美術大学）	森啓輔（学芸員）	13

10/9	千葉経済大学公開講座「オープンアカデミー」(千葉経済大学)	宮本勇治(事務長)	1
10/30	あざみ野コンテンポラリーvol.12「対木裕里 ばらばらの速度」関連イベント 対談(横浜市民ギャラリーあざみ野)	森啓輔(学芸員)	1
11/11、3/14	例会卓話(千葉中央ロータリークラブ)	山梨絵美子(館長)	2
12/6、13、20	芸術文化政策特論Ⅱ(武蔵野美術大学)	森啓輔(学芸員)	3
12/10	Art collective 目[mé]講演会(大阪大学C0デザインセンター)	畑井恵(学芸員)	1
1/23	武蔵野芸術大学公開講座2021「「ぺらぺらの彫刻」についてぺらぺら語る会」(武蔵野美術大学)	森啓輔(学芸員)	1
合 計			24

(2) 各種委員等

開催	委員名等(主催者・場所)	講師	回数
7/20	ホルベインスカラシッパ審査会(ホルベイン画材株)	畑井恵(学芸員)	1
7/21、3/15	印西市文化審議会(印西市教育委員会)	西山純子(上席学芸員)	2
中止	福島県立美術館収集評価委員会(福島県立美術館)	—	—
3/30	松戸市美術品等選定評価委員会(松戸市教育委員会)	西山純子(上席学芸員)	1
合 計			4

(3) イベント事業

イベント名等(場所)	開催	出演及び協力	参加者数(人)
千葉交響楽団メンバーによるコンサート「弦楽四重奏が奏でるジャポニスムの世界(1階さや堂ホール)	2/26	小泉百合香・田口史織・高田美樹子・海老澤洋三(千葉交響楽団)	56
新春の獅子舞(1階さや堂ホール)	1/15	登渡神社登戸神楽囃子連	61
合 計			117

(4) 地域連携事業

来館者の拡大につなげることを目的に、引き続き科学館との相互割引を実施したほか、観光協会、商工会議所等との情報共有を強化し、今後の連携事業に関する検討を行った。

また、そごう千葉店と展覧会の相互広報協力と会員割引を継続して実施した。

(5) スポンサーシップ制度(寄附)

法人・個人を問わず、美術館及び芸術の発展を支援したい方に、スポンサーとして参加できる制度の拡充に努め、美術を愛する方々の輪を広げた。

寄附者 74 件 2,062,500 円

(2) 千葉市民ギャラリー・いなげ
令和3年度事業報告書

I 事業

令和3年度は多くの市民に親しまれる企画展を開催するとともに、講習会及びイベント等を企画・運営し、「地域アート・文化の拠点」として地域に根ざした美術文化の発信に一層努めました。

また、地域や各教育機関等と連携するとともに、ボランティア等の市民と協働し、当ギャラリーの円滑な運営に努めました。

新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得ないものもありましたが、できる限り開催日の延期や開催方法の変更により事業を開催するようにしました。

1 指定管理受託事業

(1) 展示事業 () 内は目標数

ア 企画展1

展示事業名	世界児童画展千葉県展
期 間	令和3年7月27日(火)～8月1日(日) 6日間
内 容	「公益財団法人 美育文化協会」と共催で、「第51回世界児童画展」の優秀作品と千葉県の入選以上の作品約200点を展示しました。千葉市内の入選校は10校でした。 (小学校) 大森小・幕張小・犢橋小・轟町小・千草台小・草野小・磯辺第三小 土気南小 (中学校) 山王中・土気南中
入館者数	624人(700人)

イ 企画展2

展示事業名	千葉市中学校美術部展
期 間	令和3年8月11日(水)～22日(日) 11日間
内 容	市内中学19校の美術部合同展。平面、立体、オブジェなど約470点の若さみなぎる作品が展示されました。生徒、保護者ばかりでなく市外からも多くの入館者があり好評でした。(参加校) 葛城中・椿森中・緑町中・花園中・蘇我中 松ヶ丘中・白井中・稲毛中・土気中・草野中・幕張西中・都賀中・天戸中 幸町二中・泉谷中・磯辺中・稲毛高附属中・真砂中・千葉大附属中
入館者数	633人(800人)

ウ 企画展3

展示事業名	海の記憶を伝える稲毛アーカイブ展
期 間	令和3年8月21(土)～9月12日(日) 26日間
内 容	「千の葉の芸術祭」の一環として実施し、海とともに大きく変化を遂げてきた稲

	毛の歴史を、写真や様々な資料と地域住民の方々の記憶を通して蘇らせました。
入館者数	1, 226人(700人)

エ 企画展4

展示事業名	第5回いなげ八景水彩画コンクール展
期 間	令和3年11月13日(土)～11月28日(日) 14日間
内 容	「いなげお話し会」で選定された「いなげ八景」をテーマにした水彩画の展覧会。小中学生部門46点、一般部門54点の応募があり、千葉市長賞2点、千葉市教育財団理事長賞2点、稲毛賞2点、市民ギャラリー・いなげ賞12点、入選82点を展示しました。
入館者数	859人(700人)

オ 企画展5

展示事業名	ギャラリー・いなげ新春展
期 間	令和4年1月4日(火)～16日(日) 12日間
内 容	当ギャラリーで講習会等の指導をされている地域の作家による小品展を開催しました。藤森睦、大山直人、糟谷隆子、河瀬蛙友、喜田英子、豊田貴美子、山田智恵子、三笠晃裕、ムラカズユキ、本沢秀子、青柳光枝、福山歩由美、島田雅照、平田恵、香焼直美の15氏に参加いただきました。
入館者数	523人(800人)

カ 企画展6

展示事業名	千葉ゆかりの作家展 濱田清の世界展
期 間	令和4年2月3日(木)～20日(日) 16日間
内 容	千葉在住の濱田清氏の45年にわたる画業を振り替える大規模な絵画展。神谷別荘も第二展示会場として利用しました。
入館者数	1, 142人(800人)

(2) 講習会等 () は目標値

ア 講習会等1

講習会名	春のスケッチ会
期 日	令和3年4月24日(土)
参加者	13人(20人)
内 容	幼児から大人まで気楽に参加できる写生会で、ギャラリー庭園、松林、ゆかりの家に分かれ、半日ゆったり絵を描きました。密を避けるため募集人数を減らし、庭園で開会式を行いました。 講師 佐藤央育氏(高校美術教師)、NARAMIX氏(美術家)

イ 講習会等2

講習会名	教職員を対象とした画材研修会
期 日	令和3年8月4日(水)
参加者	市内在勤の小学校図工担当教員 15人(20人)

内 容	ぺんてる株式会社の大家義孝氏を講師に招き、コロナ感染対策題材も含め、クレヨン・コンテ・絵具等の多様な使い方を専門家から学ぶことができました。密を避けるため少人数で二つの講座に分けて実施しました。
-----	---

ウ 講習会等 3

講習会名	教職員実技研修会
期 日	令和3年8月5日(木)
参加者	市内在勤の小学校図工担当教員 8人(20人)
内 容	小学校低学年から高学年までの題材として使えるペットボトルと樹脂粘土(ふわふわ粘土)を用いたランプシェードをつくりました。密を避けるため定員を減らし、少人数に絞って実施しました。講師は宮本善紀氏(中学校美術講師)

エ 講習会等 4

講習会名	夏休み子ども美術講座
期 日	令和3年8月8日(土)、9日(日)
参加者	地域の小学生16人(20人)
内 容	コロナの終息を願って、一人一人の思いがこもった土偶を作りました。講習会当日は粘土での成型まで行い、十分作品を乾燥させた後、講師の佐藤央育氏(高校美術教師)が自ら野焼きをし、作品を完成させました。密を避けるため募集人数を減らして実施しました。

オ 講習会等 5

講習会名	秋休み子ども美術講座 「いろとひかりであそぼう」
期 日	令和3年10月9日(土)・10日(日)
参加者	地域の小学生 20人(20人)
内 容	LEDライトで照らされる灯ろうのようなきれいな作品をつくりました。密を避けるため募集人数を減らして実施しました。講師は地域在住のデザイナーNAMIKI氏

カ 講習会等 6

講習会名	秋のスケッチ会
期 日	令和3年10月30日(土)
参加者	幼児~大人 20人(20人)
内 容	秋晴れのすばらしい天気の中、春のスケッチ会同様に、ギャラリー庭園、松林、ゆかりの家に分かれ、半日ゆったり絵を描きました講師 NARAMIX氏(美術家)

(3) 旧神谷伝兵衛稲毛別荘の活用事業

ア 活用事業 1

講習会名	旧神谷伝兵衛稲毛別荘紹介動画の上映会
期 日	上映期間 令和3年11月13日(土)~11月28日(日)

内 容	旧神谷伝兵衛別荘別荘の紹介動画として、別荘建築の見どころを開設した動画を1階洋間にて繰り返し上映しました。その後ギャラリーでも上映し、さらに、多くの人に別荘を知ってもらうためにその動画をユーチューブで配信しました。
-----	---

イ 活用事業2

講習会名	千の葉の芸術祭の展示会場
期 日	令和3年8月21(土)～9月12日(日)
内 容	1階の洋室・2階の和室に加え地下室も使用し、第一線で活躍するアーティスト2人(横湯久美氏、金川晋吾氏)の写真展を行いました。別荘の各部屋の持つ洋や和の良さを生かしながら、展示用に作成された壁や仕切り、台などを設置した展示会場での作品展示は大変好評でした。

ウ 活用事業3

講習会名	千葉ゆかりの作家展の展示会場
期 日	令和4年2月3日(木)～2月20日(日)
内 容	千葉ゆかりの作家展では、濱田氏が画業に進んでいくきっかけとなった依頼を受けて描いた民話の挿絵の原画などを第二会場の別荘に展示しました。

2 展示室および制作室の貸し出し

制作室利用者、展示室利用者、展示観覧者の誰もが快適に施設を利用できるよう、きめこまやかなサービスを提供するように努めました。

また、条例の規定に基づく条件(利用条件・利用料金)により貸し出し業務を行いました。

◎利用率

展示室	利用率実績	制作室	利用率実績
第一展示室	81.8%	第一制作室	51.0%
第二展示室	76.3%	第二制作室	64.6%
第三展示室	61.7%	第三制作室	41.9%
展示室全体	73.3%	制作室全体	52.5%

3 「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」の公開

「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」の来館者に対しては、以下のようなサービス・配慮を行いました。

- ① 例年団体利用者で希望がある場合 学芸担当と所長が解説していましたが、令和2年度に続き令和3年度も新型コロナの感染リスクを下げるため中止しました。
- ② 常に担当者を1名配置し、良好な衛生環境、美観に心がけ、利用者の妨げにならないよう配慮しつつ、日常清掃及び定期特別清掃を実施しました。
- ③ 旧神谷伝兵衛稲毛別荘入館者数

年 度	令和3年度	目標値
入館者数	8,028人	11,500人

4 千葉市民ギャラリー・いなげの自主事業

自主事業は、美術の振興を目的にした指定管理受託事業を補うとともに、当施設の利用促進を図る内容で実施しました。

(1) 講習等 () 目標値

①

講習会名	山口マオ版画ワークショップ
期 日	令和3年6月
参加者	(15人)
内 容	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③

講習会名	オンライン写真講座 カメラを通して発見する身近な世界
期 日	令和2年9月19日(日)～10月20日(水)
参加者	高校生～大人 10人(20人)
内 容	オンラインでの写真講座。受講生が撮影した写真と講師の講評をオンラインでやり取りする。丁寧な講評が好評であった 講師 白井綾(写真家)

③

講習会名	写真講座 夜景を撮る
期 日	令和3年11月 稲毛あかり祭夜灯の開催日
参加者	(20人)
内 容	稲毛あかり祭夜灯が中止になったため中止

5 ボランティアの組織と活用

(ア) ボランティアの組織と活用

①芸術ボランティア(学校教員8人、その他4人 計12人)

市内在住・在勤の美術担当教師や主婦などによって組織し、当ギャラリーの講座、イベント等に協力をいただきました。

②花壇ボランティア

(稲毛区民2人 若葉区民1人 計3人)

6 その他「千葉市民ギャラリー・いなげ」の目的を達成するための業務

(1) 広報活動の推進

①ホームページの充実

- ・ ブログ、ツイッターでの発信
- ・ web 上からの問い合わせフォーム設置
- ・ 他団体ホームページ 千葉県観光協会「千葉県観光ガイド」
千葉県観光プロモーション課
マイプレ
いこうよ
アミーカ

②マスコミの活用

- ・ 記事が掲載された新聞 10(11) (千葉日報、読売、東京、県民だより)
- ・ 雑誌、フリーペーパー15(10)
- ・ テレビ・ラジオ 6(3)

③広報誌「海気通信」の発行

取材源の「いなげお話し会」が中止のため発行できず

④「いなげ八景散策マップ」(事業計画の概要裏面)の発行

(2) 地域との連携

①いなげ八景散策マップ

当ギャラリー周辺の関連施設や商店街等と連携し、いなげ八景散策マップを作成することで、周辺施設の利用促進に努めました。

②音声ガイドで巡るいなげ八景 年間 9人

ガイドブックを参考に、いなげ八景の一つ一つの場所でポッドキャストを使用した音声ガイドを聞きながら、個々で稲毛の街歩きをした。

④ 地元の町おこし行事 稲毛あかり祭「夜灯(よとぼし)」が昨年度に引き続き中止となった。

例年11月の「夜灯(よとぼし)」の会場の一つとなり、ギャラリーの庭園で灯ろうの夜間展示をしていたが昨年度同様に中止としました。

⑤ いなげお話し会 中止

⑤ 地域学校との連携

a 小学校との連携

- ・ 世界児童画展参加 8校
- ・ 近隣学校児童生徒作品展参加 2校
- ・ 地域探訪 1校
- ・ 出前授業 1校

b 中学校との連携

- ・ 中学校美術部展参加校 19校
- ・ 世界児童画展参加校 2校

- ・地域探訪 1校
 - c 公民館との連携
 - ・ 稲毛公民館との連携 水彩画教室「いなげ八景を描く」
- 5/1、8、15の全3回。15人参加。

II 施設管理

1 利用者数・利用状況

(1) 施設活用事業

区 分	展 示 室	制 作 室	計
開館日数(日)	308	308	
利用団体数(団体)	33	35	68
入館者数(人)	9,438	8,241	17,679

(2) 公開管理事業

区 分	旧神谷伝兵衛稲毛別荘
開館日数(日)	308
入館者数(人)	8,028

2 利用制限実施状況

緊急事態宣言・まん延防止等重点措置等、新型コロナ感染拡大防止のため
 令和3年3月21日～10月24日 20:00～21:00の利用制限
 年間を通じて各諸室の利用は定員の50%以内

3 不利益処分状況 ありません

4 事故報告 ありません

5 モニタリングの実施状況

(1) 「千葉市民ギャラリー・いなげ利用者懇談会」を開催

施設に対する評価や新たなニーズの把握等を目的として、12月3日に実施しました。地域の小中学校関係者・地元商店街・地域NPO関係者・利用者代表・指定管理者でメンバーを構成しました。

(2) 利用者アンケート

1,082人からアンケートをいただきました(詳細は月次報告)。

(3) 意見箱による意見・要望の収集をしましたが、意見・要望はありませんでした。

(4) 講座利用者アンケートを行いました。ご意見は次年度の計画に反映させました。

6 業務改善状況

ロビーの活用 ロビーを整備し、ミニ企画展を開催しました。4・5月はコロナのため休館

4月	江戸の面子と昭和のめんこ	5月	千葉市民ギャラリー・いなげスタッフ展	6月	海月岳人展
----	--------------	----	--------------------	----	-------

7月	企画展で使用 (世界児童画展)	8月		9月	山岸翔作品展
10月		11月	第5回いなげ八景水彩画コンクール展	12月	色であそぼう〇〇どうぶつ成果展(工程や作品のスライド上映)
1月	企画展で使用 (ギャラリー・いなげ新春展:サークル講師の作品展) (新春美術小品展:千葉市教員OBの作品展)	2月	企画展で使用 (千葉ゆかりの作家展)	3月	稲毛ギャラリー収蔵作品展

7 利用料金その他の収入の状況に関する事項

- (1) 利用料金収入状況(詳細は別紙参照)
- (2) 自主事業収入状況(詳細は別紙参照)

8 管理業務の実施に要する経費の支出の状況に関する事項

- (1) 経費支出状況(別紙参照)

9 維持管理業務

(1) 保守管理業務実施状況

予防保全策を基本とし、関係法令を遵守することはもちろん、物理的劣化等による事故等の予防だけでなく、施設の機能及び性能を最大限活かせるよう保守管理を行いました。

建築基準法第12条に規定されている建築物及び建築設備の定期検査を実施しました。

建造物及び敷地内を安心して利用できるように、日常的に点検を行い、施設の安全管理に努めました。また、点検重要箇所、危険箇所をリスト化して、日常点検者とは別の者が定期的にチェックを行いました。

(2) 清掃業務実施状況

①内容と方法(頻度等)

日常清掃・・・共用部分、専用部分、外回りを午前8時より午後4時まで行いました。

定期清掃・・・日常清掃で実施しにくいギャラリー棟、別荘棟の床面とガラス面は原則として休館日に行いました。(年3回)

その他清掃・・・清掃中に気がついた部分についても必要に応じ清掃を実施しました。

②清掃状況の確認方法

日常清掃・・・委託清掃作業員が作成した作業日誌の提出を受け確認しました。

定期清掃・・・提出された作業報告書をもとに、巡回して確認しました。

(3) 警備業務実施状況

8時から21時までは、職員及び委託事業者職員が警備しました。21時から翌朝8時までは、機械警備委託により、施設を警備しました。いずれの場合も、非常時連絡網を整備するとともに、

異常時発生の記録を記載していますが、特に重大な事例はありませんでした。

(4) 設備機器管理業務実施状況

施設の機能を維持するとともに、利用者が快適に施設を利用できるよう良好な環境を保つため、早期発見、早期対応による効率的な設備機器の管理を行いました。

①空調設備、消防設備、電気設備等の法定点検及び初期性能・機能保持点検のため、年1回以上運転中の機器を停止し、外観点検、機能点検、機器動作特性試験や整備業務を委託し、現状のチェックを行いました。なお、その際には職員が同行して責任体制を明確にしました。

- ・職員が設備機器の日常チェックを実施しました。
- ・日常チェックの結果、異常が見つかった場合には、早急に委託業者に連絡して異常箇所の点検を行い、利用者に支障が生じないようにしました。

(5) 備品等保守管理業務実施状況

備品については、備品台帳を整理し、貸し出し備品については、返却時に職員がチェックすることとしています。

①備品の管理

施設における活動に支障をきたさないよう、備品の管理を行いました。

②備品台帳の作成・管理

備品の管理にあたっては、備品台帳を作成し、備品台帳に記載する事項は、品名・規格・金額(単価)・数量・購入月日・耐用年数等としました。

(6) 修繕業務実施状況

①小規模な修繕 指定管理者で対応できるものは速やかに行い、その他は千葉市へ報告後、専門業者に依頼しました。

②外壁・機械設備等の経年劣化や老朽化については、長期修繕計画を策定し千葉市へ報告しました。

(7) 敷地内の植栽管理に関する業務

敷地内の植栽については、来館者の目を楽ませるように適宜手入れをし、池の清掃も定期的に行いました。

(8) 駐車場管理業務

駐車場を管理するにあたっては、利用者に必ず入出庫時間とナンバーを記入してもらい、混雑時の調整を行っていましたが、令和3年度は、新型コロナ感染リスクを低減するためナンバーの記入を中止しています。

(9) その他の業務実施状況

特にありません。